

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-47369

(P2003-47369A)

(43) 公開日 平成15年2月18日 (2003.2.18)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テームコード (参考)

A 0 1 K 85/01

A 0 1 K 85/01

2 B 1 0 7

85/00

85/00

G

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2001-268007 (P2001-268007)

(22) 出願日 平成13年8月2日 (2001.8.2)

(71) 出願人 501327916

坂入 仁

千葉県市川市下貝塚 1 丁目12番14号

(72) 発明者 坂入 仁

千葉県市川市下貝塚 1 丁目12番14号

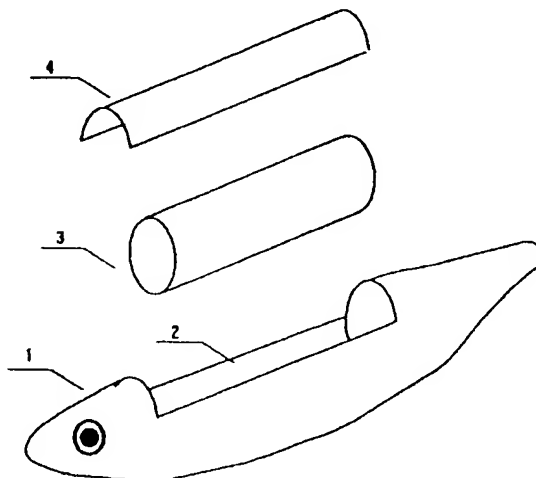
F ターム (参考) 2B107 BA41 BA42 BA61 BB10

(54) 【発明の名称】 釣り用ルアー

(57) 【要約】

【課題】 魚類が一般に青及び緑に好意的行動を示すことが知られており、さらに紫外線がこれらの色の刺激と同等またはそれ以上の刺激を魚眼の錐体に与えることは明白である。このようにして釣り対象魚が紫外線に対して誘引されることを利用して、水中において釣り用ルアーから紫外線を放射し、釣りの対象魚をよりよく誘引し釣果の向上を達成する。

【解決手段】 釣り用ルアー本体内に紫外線放射装置を内蔵し、ルアー本体から紫外線を水中に放射し、以ってその紫外線の透過性の高さから、昼間は勿論特に可視光線の少ない夜間にその優位性を発揮するのである。同様に水の清濁を選ばず釣りの対象魚をよりよく誘引する。その結果、よりよい釣果の達成に貢献するものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】釣り用ルアーに紫外線放射装置を内蔵し、ルアー本体の一部または全部から紫外線を放射させ釣りの対象魚をよりよく誘引することを特徴とするルアー。

【請求項2】本発明は紡錘型の魚体を模した典型的なルアーに限らず、釣りに用いる生餌である蟹等の甲殻類、虫、さらには大型魚の餌となる蛸やイカ等を模した疑似餌にも適用可能である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は釣り用ルアーに係り、より多くの釣果を得るためのルアーを提供することにある。

【0002】

【従来の技術】従来のルアーはより多くの魚を誘引するために、その形状、素材、表面処理等に工夫を加えたり、自ら発光するものなど様々な仕掛けや工夫がなされてきたが、それらは可視光線等の作用に関わる技術であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】一般に魚類は可視光線による視覚とともにその魚眼で紫外線を感知する機能を有している。さらに魚類は赤系統の色に対しては逃避したり攻撃したり嫌悪感を現わす行動をとるが、青色系統及び緑色系統の色に対しては好意的であることが知られている。また青と緑は魚類にとっては同じように認識される。

【0004】したがって、紫外線は幅広い帯域で魚眼の錐体に刺激を与え魚類に対し誘引作用を発揮するのである。

【0005】つまり釣り対象魚にとって紫外線は強力な誘引作用のひとつであり、水中での透過性も強いため、これを釣り用ルアーに適用すれば広範囲で強力な集魚誘引効果を発揮するのである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決する手段として、釣り用ルアーに紫外線放射装置を内蔵し、ルアー本体から紫外線を水中に放射し、ルアーに従来にない集魚誘引効果をもたらす。

【0007】尚ここに用いる紫外線放射装置は電気式によるのが一般的であるが、これに限定するものではない。

【0008】またルアーの形状においても典型的な紡錘形の魚の形状に限らず、釣りの対象魚の餌となり得る蟹、海老、ワーム等の形状にも適用可能なことは当然の

理である。

【0009】

【発明の実施の形態】ルアー本体は電気等のエネルギーの消耗に備え、これを交換可能にするため、分割及び再結合できる構造とし、またその内部には紫外線放射装置を内蔵しうる中空の部分を用意する。

【0010】図1はいわゆる紡錘形の魚の形状に適用した場合の例である。1のルアー本体に2の中空の部分設け、そこに3の紫外線放射装置を嵌め込みさらにその上に4のカバーを被せ、魚体に似せたものである。

【0011】図2はさらに紫外線放射装置の側面の断面図であり、3の防水性の樹脂で形成される筒状の容器の内部に5の紫外線ランプと6の電池を配し、5の紫外線ランプと6の電池を7の電極で結線し紫外線ランプに通電し紫外線を放射可能にする。8は3の筒状容器の蓋であり着脱可能な防水構造とする。

【0012】上記の例はこれに限定するものではなく、その形態においてはおよそルアーフィッシングの疑似餌となり得るものであればその全てに適用可能である。ルアーの材質に付いてはプラスチック等の樹脂類が適当であるが、紫外線を透過させる材質であればこれに限定するものではない。

【0013】

【発明による効果】釣り用ルアーに紫外線を発生させ、より広範囲でより強力な被捕捉性をもたらし、釣り対象魚に対しより確実に強い誘引効果を発揮し、以って釣果の向上を実現する。また紫外線は可視光線の明暗による影響を受けないため、明るい昼間は勿論のこと、夜間などの暗い時や水の透明性の低いところでは、可視光線による視覚機能が低下するので、逆にその有効性を増すのもこの発明の特徴である。

【図面の簡単な説明】

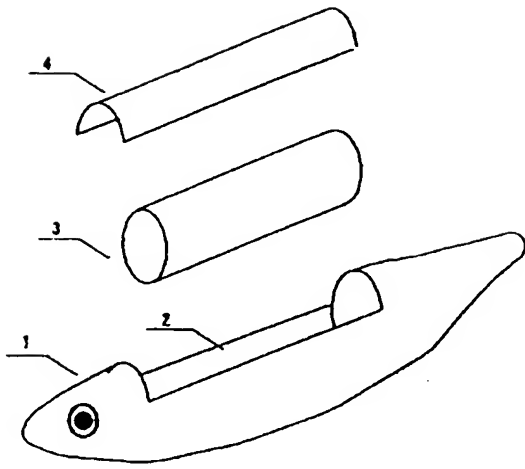
【図1】紫外線放射装置を内蔵するルアーを分解した図である。

【図2】紫外線放射装置の側面の断面図

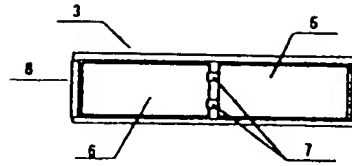
【符号の説明】

- | | |
|---|------------------|
| 1 | ルアー本体 |
| 2 | 紫外線放射装置を内蔵する中空部分 |
| 3 | 紫外線放射装置 |
| 4 | カバー |
| 5 | 紫外線ランプ |
| 6 | 電池 |
| 7 | 電極 |
| 8 | 蓋 |

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP02003047369A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003047369 A
TITLE: LURE FOR FISHING
PUBN-DATE: February 18, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SAKAIRI, HITOSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SAKAIRI HITOSHI	N/A

APPL-NO: JP2001268007

APPL-DATE: August 2, 2001

INT-CL (IPC): A01K085/01, A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To increase the number of the hooked fishes in the lure fishing by more attracting the target fishes with the ultraviolet light radiated from the fishing lure in the water, on the basis that fishes have been well known to act on blue and green colors favorably in general, in addition, the ultraviolet rays stimulate the retinal cones of the fish eyes at the same level as or higher than these colors.

SOLUTION: The main body of a fishing lure has an ultra-violet light radiator built in the body to radiate ultraviolet light into the water and exhibits the predominant fish-attracting effect not only in the day time

but also in the
night time with the visible light reduced. In the same
way, this lure can
always attract fishes, even when the water becomes turbid
or cloudy whereby the
big catch is attained.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO